



大学の出願書類にある「保護者の意見欄」は、空欄のまま提出期限を迎えてしまう家庭が少なくありません。この用紙では、書式ごとの完成した例文を並べています。お子さんの状況に近い1本を選び、下線部の内容だけ書き換えてお使いください。

## 大学向け意見欄の記入例

### 例文①(384字)

娘は高校二年生の秋、地域の商店街で空き店舗が増えている問題を探究学習のテーマに選びました。休日に商店街を歩いて聞き取りを行い、家庭でもデータの読み方について話し合う機会が増えました。当初は人前で話すことが得意ではありましたが、発表を重ねるうちに、自分の考えを筋道立てて説明できるようになったと感じています。志望する経済学部では、地域経済の仕組みを学問として捉え直したいという本人の考えを、家庭としても尊重しています。休日に家族で商店街の様子を見に行き、シャッターが下りた店の数を一緒に数えたこともあり、本人の関心の変化を間近で見てきました。大学生活では、興味を持ったことに立ち止まって調べる姿勢を大切にしながら、新しい環境の中で自分の考えを言葉にする経験を重ねてほしいと考えております。保護者としても、本人が主体的に学ぶ姿勢を引き続き支えてまいりたいと思います。

#### この例文のどこが効いているか

- ・ 探究学習のテーマ→家庭での変化→大学への期待、という時系列で書かれていて読みやすい構成です
- ・ 「人前で話すことが得意ではなかった」という弱さから入ることで、成長の変化が伝わりやすくなっています
- ・ 大学への要望を「～してほしいと考えております」という控えめな言い回しに留め、可否や成果を保証していません

### 例文②(197字)

息子は探究学習で地元の農業とフードロスの関係を調べ、農家への聞き取りを重ねてきました。家庭では、調べた内容を夕食の時間に話す習慣ができ、社会の出来事を自分ごととして捉える様子が見られるようになりました。志望する農学部では、現場での学びを重視していると聞いております。家庭としても、教室の外で得た気づきを大切にしてきた本人の姿勢を、大学でも生かしてほしいと考えており、引き続き応援してまいります。

#### この例文のどこが効いているか

- ・ 短い字数の中でも「テーマ→家庭での様子→大学への期待」の3段構成を崩していません
- ・ 「聞いております」という伝聞の形で、学部の特徴を断定せずに触れています
- ・ 家庭での具体的な習慣(夕食での会話)を挙げることで、抽象的な言葉に終わっていません

## 高校生活を振り返る一言例

### 一言例①(81字)

入学当初は人前で意見を言うことをためらっていましたが、部活動での話し合いを重ねる中で、自分の考えを言葉にして伝える場面が少しずつ増えていったように感じております。

#### この例文のどこが効いているか

- ・「入学当初」と「現在」を対比させることで、3年間の変化が一文で伝わります
- ・部活動という具体的な場면을挙げており、抽象的な人物評で終わっていません
- ・「感じております」という控えめな表現で、断定を避けています

#### 一言例②(72字)

文化祭の実行委員を務めた一年間で、意見の異なる人たちと折り合いをつけながら物事を進める力が、家庭で見ても着実に育っていったと感じております。

#### この例文のどこが効いているか

- ・「実行委員」という役割名を出すことで、エピソードの輪郭がはっきりします
- ・「意見の異なる人たちと折り合いをつける」という行動レベルの描写になっています
- ・家庭側の視点(見えても)であることを明記し、本人の主張と役割を分けています

#### 一言例③(76字)

三年間、欠席することなく登校を続け、日々の積み重ねを大切にする姿勢が、家庭で見えても伝わってまいりました。行事の準備にも最後まで取り組んでおりました。

#### この例文のどこが効いているか

- ・皆勤という事実を起点にすることで、誇張のない書き出しになっています
- ・「行事の準備」という具体例を添えて、一文で終わらせていません
- ・成績や順位など数値の伴う評価に触れず、姿勢のみを扱っています

### 本人の長所を書く例文

#### 例文①(164字)

本人の長所は、一度取り組み始めたことを最後までやり遂げる粘り強さだと感じています。探究学習でも、データが集まらない時期がありましたが、聞き取り先を変えるなど方法を工夫しながら続けていました。家庭でも、うまくいかない時にすぐ諦めず、別のやり方を考える姿を見てきました。この粘り強さを大学での学びにも生かしてほしいと考えております。

#### この例文のどこが効いているか

- ・「長所は～だと感じています」と最初に結論を示し、後半で根拠を説明する構成です
- ・探究学習でつまづいた場面をあえて書くことで、長所に具体性が出ています
- ・大学での期待を「生かしてほしい」という願望の形に留めています

#### 例文②(165字)

本人の長所は、周囲の意見に耳を傾けながら自分の考えを持てるところだと感じています。家族で話をする際も、異なる意見を頭ごなしに否定せず、一度受け止めた上で自分の考えを伝える様子が見られます。友人関係でも、この姿勢を大切にしてきたと本人から聞いており、大学でも多様な人との関わりの中で力を発揮してくれるのではないかと期待しております。

#### この例文のどこが効いているか

- ・家庭内の会話という、保護者だからこそ書ける場면을根拠にしています

- ・「友人関係でも」と本人からの伝聞を添えることで、家庭外の様子にも触れています
- ・「発揮してくれるのではないか」という推量の形で、成果を約束していません

## 短い意見欄(3行)用の例文

### 3行例文①(54字)

家庭でも粘り強く取り組む姿を見てまいりました。大学でも自分のペースで学びを深めてほしいと強く願っております。

この例文のどこが効いているか

- ・「家庭での様子」と「大学への期待」の2文だけで完結させています
- ・具体的な長所(粘り強さ)を1点に絞り、詰め込みすぎしていません
- ・敬体を保ったまま、短い枠でも失礼のない文末にしています

### 3行例文②(58字)

本人の考えを尊重し、家庭としても進路選択を支えてまいりました。今後の学びを、家族として見守ってまいりたいと思います。

この例文のどこが効いているか

- ・「支えてきた」という過去の事実と「見守る」という今後の姿勢を分けて書いています
- ・進路選択の主体が本人であることを明示し、家庭が決めた印象を与えません
- ・3行という枠を意識し、一文を短く区切っています

## 書いてはいけないNGワード

意見欄でよく見かける、避けたほうがよい表現です。

- ・「絶対に合格させたい」「必ず面倒を見ます」など、可否や将来を断定・保証する言い回し
- ・学校や先生への不満、批判にあたる表現
- ・家庭の経済状況を理由に配慮を求める表現(奨学金や学費に関する具体的な依頼)
- ・子どもの病名、通院、服薬など医療に関わる情報
- ・友人や先生、きょうだいなど第三者の実名や個人が特定できる表現
- ・「今しかない」「乗り遅れる」など、急かすような言い回し
- ・他の受験生やきょうだいと比べるネガティブな表現
- ・「絶対」「必ず」「100%」など、言い切りの強い断定語

## 書き換えるときに変える場所

丸写しではなく、下線部にあたる次の箇所をお子さんの内容に置き換えてお使いください。

- ・大学名・学部名(「〇〇大学」「経済学部」の部分)
- ・探究学習・部活動・行事など、具体的なエピソードの内容
- ・本人の長所や変化として挙げている行動の中身
- ・家庭で見てきた具体的な場面(会話の内容、一緒に行った行動など)

- 大学生活への期待として書く一文(本人の志望内容に合わせる)

---

記入して使う配布用の様式です。印刷してお使いください。

<https://toinotane.com>